

沢田エンジニアリング株式会社

環境行動計画

取組方針

沢田エンジニアリング株式会社は、水と空気と環境の分野で豊かな経験をいかし環境保全に努力していきます。

このため、社員全員に環境保全活動の以下の取組内容を的確に知らせるとともに環境教育を実施し一人一人が積極的に活動に参加することを推進します。

- (1) 紙の使用の削減・水の節水
- (2) エネルギー(ガソリン・灯油)の節約
- (3) 作業用品と消耗品の節約
- (4) 整理・整頓・清掃・清潔・躰の徹底

平成 20年 2月 12日

沢田エンジニアリング株式会社
代表取締役 沢田 隆

3 環境負荷の低減目標

2009年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。
(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも2007年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を3%削減する

2007年	3% ↓	2009年
基準年の総排出量		目標年の総排出量
23322 (kg-CO ₂)		22622 (kg-CO ₂)

【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する

2007年	2% ↓	2009年
基準年の排出量		目標年の排出量
0.06 (t)		0.0588 (t)

【目標3】 コピー用紙の使用量を1%削減する

2007年	1% ↓	2009年
基準年の使用量		目標年の使用量
70 (kg)		69.3 (kg)

【目標4】 水使用量を2%削減する

2007年	2% ↓	2009年
基準年の使用量		目標年の使用量
780 (m ³)		764.4 (m ³)

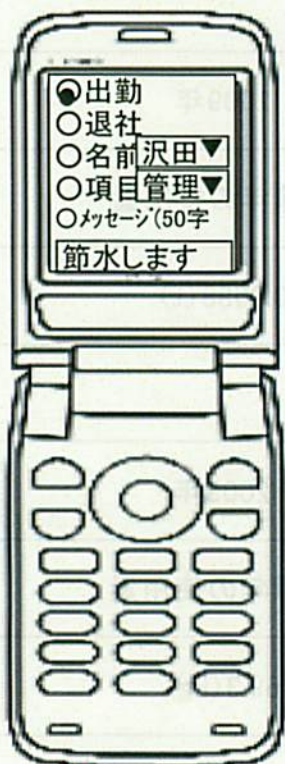
【目標5】 消耗品・作業用品の不必要な交換を削減する。

4 環境保全に向けた具体的な取組

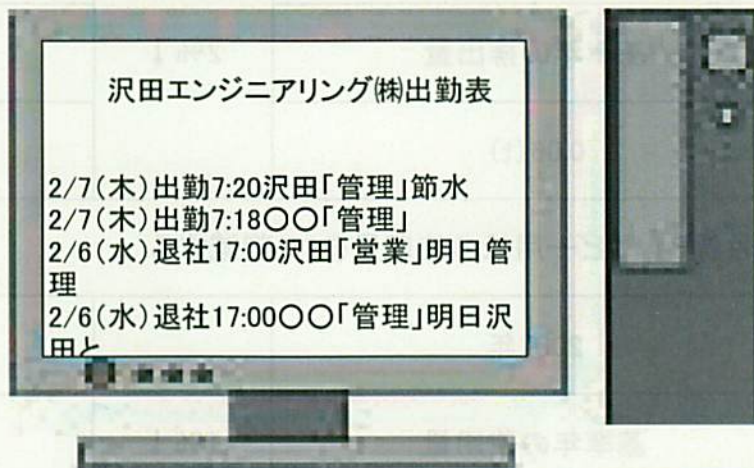
【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(維持管理現場での取組)

- * メールやインターネットを利用し出勤簿を入力する。自宅から直接現場へ出勤することで、ガソリンの消費を抑える。
- * メールを利用し報告書などを作成する。なるべく事務所への不必要な出入りをなくしガソリンの消費を抑える。
- * 同じ現場に出勤する場合は、なるべく相乗りにする。
- * 事務所からの連絡もメールやホームページの掲示板から配信することで、事務所から現場への無駄な出勤を減らす。



ホームページ上で出社、退社が携帯電話から入力できます。会社のパソコンで確認できます。



会社へは必要な時のみ出社



家から直接現場(下水処理場へ)ガソリン節約



(事務・営業部門での取組)

- * 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- * 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- * パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- * 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- * アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- * 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(廃棄物)

- * 廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ゴミ、コピー用紙、封筒)に分別して出す。
- * ウェス、軍手、ゴム手袋などは使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- * ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- * 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- * 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- * 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- * 製品をできるだけ長期間使用する
- * シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- * ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- * 使用済みの段ボール、荷造りのひもを分別する。

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- * 両面印刷、両面コピーを徹底する
- * 使用済み用紙の裏面を利用する(分野帳など)
- * 書類、資料の電子データ化を進める
- * 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する。
- * 社内資料は両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める
- * コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する。

【取組4】 水使用量の削減

- * 配管からの漏水を定期的に点検する
- * 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- * 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- * 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 消耗品・作業用品の不必要な交換を削減する。

- * カップやゴム手袋等、洗濯できるものは、洗濯し繰り返し使用する。
- * ゴム手袋の引っ掛けや挟まりによる穴あきに注意し出来る限り長持ちさせる努力をする。

【取組6】 その他の取組

- * 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- * 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- * 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する
(年間・月間目標の募集)
- * 下水処理場の管理という立場から清潔には特に気をつけて行動する。

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、環境への取組について社員全員で話し合い協力し、徹底を呼びかける。

社員全員での取組方法

1.目標の募集

現場も事務も営業も全員で協力

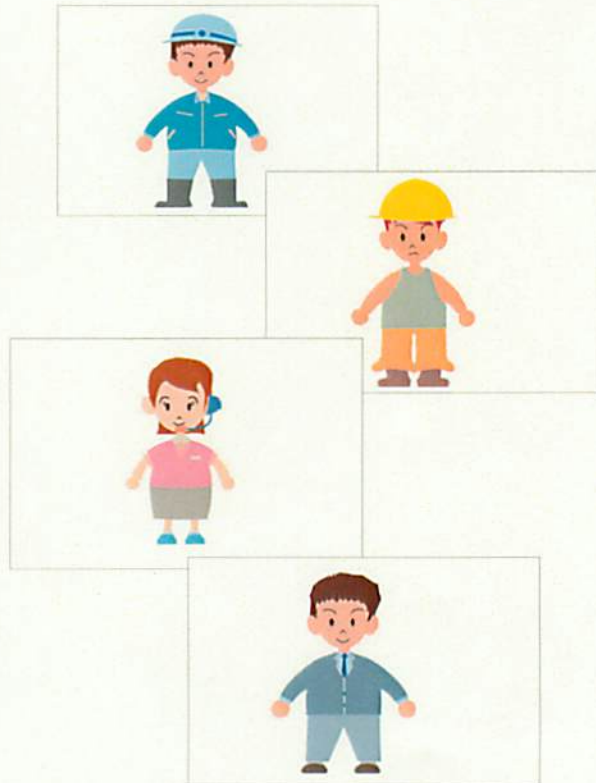
社員の皆様へ
 沢田エンジニアリング㈱

環境保全活動の年間
 月間目標の募集

毎月一人ずつ順番に
 目標の募集を行います。
 適切な目標を考えてください。

小さな目標でもかまいません。
 少しずつ長く
 続けられるものにしましょう

全員で協力しあい頑張りましょう。



2.チェックシートの作成

使用済み用紙の裏面を利用しチェックシートを作成

チェックシート	沢田						
	2/4	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
・節水する	○						
・節電する	○						
・エコドライブの実践	○						
・整理・整頓・清掃する	△						
	○						
・コピー用紙使用枚数	20						
・ゴム手袋交換	1						
・ガソリン量	30						
・エコで気のついたこと							